

# 街路樹

## 学力向上に向けて

～いわき市学力実態調査の結果から～

学習のけじめについてのアンケート結果②

質問内容 「授業で習ったことはその日のうちに復習していますか？」



	全国				いわき市
	平均	上位	中位	下位	
小学校6年	32.7	39.8	31.9	25.3	34.6
中学校1年	26.7	33.4	25.9	21.2	36.5

全国的に「習ったことをその日のうちに復習する」児童生徒が少ない状況である。児童生徒が、家庭学習について積極的に取り組んでいないと考えられる。

また、別の調査では、小・中学生ともに8割から9割の児童生徒は、「宿題はきちんとやる」という調査結果も出されている。

これらのことから、その日のうちに復習をさせるべき内容については、宿題などでカバーしながら基礎・基本の確実な定着を図る工夫を講じる必要がある。

質問内容 「授業で習ったことは、普段の生活と結びつけて考えていますか？」

	全国				いわき市
	平均	上位	中位	下位	
小学校6年	42.9	50.4	42.6	34.7	48.9
中学校1年	34.5	38.4	36.1	29.0	35.2

授業で習ったことを、日常生活と結びつけるという考え方は全国的に低い状況であるが、本市においては、全国と比べてやや高い状況を示している。

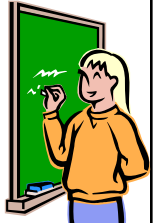
学力の高い児童生徒でも、日常生活の中の事象について教科学習と結びつけて考えているのは少ないことも明らかである。教科の学習についてより興味関心を高めるためには、日常にみられる事象を子どもたちの学習の舞台に載せ、そして日常にいかにかえすかが課題となる。

## 板書・ノートの指導技術 ③

～日々の板書について見直しましょう～

Q. 板書の位置はどうすればよいか？

A. 読みやすい板書にするため、次のことに配慮することが大切です。



①板書の分量を考える。

1時間の授業で何を、どれだけ板書するか計画して授業に臨みます。さらにそれらの板書を「どこへかくか」「どこからかくか」「どこで終わりにするのか」を黒板に配列してみます。

②黒板全部を使わない場合は、次のことを考えて板書する。

- ・できるだけ黒板の真中を使う。
- ・子どもの目の高さに近い所へ板書する。
- ・ゆとりを持たせて板書の位置を考える。

③教室の採光の状態を考える。

晴天時は、黒板の一方が反射して光ります。特に北側の前の席の子どもたちには、板書が見にくくなります。そのようなときは、南側のカーテンを引く等、教師が実際に子どもの席に座って確認し、板書の位置を決めるようにします。

## 教育相談係より

○2学期は、不登校等の問題が発生しやすい時期です。電話相談や来所相談は、随時行っております。ご利用ください。



すこやか教育相談 23-7261  
子ども健康教育相談 22-3705

## 研修の感想紹介

### 生徒指導主事研修② (7/7)

<講義>

○「生徒指導上の諸問題」

多様化する問題の中で、不登校生徒への対応、問題傾向を持つ生徒、休業後の子どもの変化などについて、小さなことを大切に扱うことの重要性を再認識できました。

○「性教育に関する指導について」

福島県、いわき市における人工妊娠中絶数に驚きを感じました。学校において自分を守る、相手を守ることの大切さを学ばせる機会が必要であると感じました。児童生徒の発達段階を考慮した系統的な性教育の指導の大切さを考えさせられました。

### 教科指導研修講座「模擬授業」(8/10)

<講義・演習>

○模擬授業に参加して「授業のコツ」を得られたように思います。また、子どもの立場になって授業を考えることができ、普段は気づかない点にも目を向けることができ、大変有意義な研修になりました。

○模擬授業を受けて協議するのは非常に勉強になりました。ビデオに録画して学校でも見たいと思いました。

○免外教科を持ち悩んでいました。模擬授業を受け、授業の難しさの反面、技能教科の楽しさを知ることができ、大変参考になりました。この講座は、免外教科を持つ教師は必修にすべきと感じました。

